

一般財団法人「くまもと未来創造基金」 事業計画書

1. 事業期間

2019年 6月1日～2020年5月31日

2. 基本方針

当法人は、**地域を支えるために必要な資源の循環を作り、社会を構成するあらゆる人が地域の未来を担い合い支える仕組みを構築することによって、持続可能で豊かな地域社会の創造と発展に資することを目的としています。**

そのため、熊本県内で活動している市民活動に関わる課題や問題を集約し、解決に向けたセミナーや情報・意見交換ができる場を提供するとともに、活動団体のネットワークを構築し、市民活動をサポートします。社会を構成するすべての主体が公益を支える仕組みの構築、活動団体に仲介・提供するために必要な資源の確保を行います。

また、新たに創設した**次世代育成事業「Appleseed 奨学金」**（熊本モンタナ高校生留学奨学金（返済義務のない給付型で支給））では、県内の高校生が広く海外に視野を向け、将来世界的視野を持ちグローバルに活躍をする人材を育成することで、社会の発展に寄与することを目的として事業を行います。

《設立から3ヵ年、以下の重点取り組みを行ってきました》

○2016年度重点取り組み【体制づくり】

- ① 基金創設の理解と支援体制の構築・必要な資源の確保
- ② 熊本地震支援活動団体のニーズ・課題調査、サポート体制づくり
- ③ 学びと交流事業の確立

○2017年度重点取り組み【仕組みの充実と拡充】

- ① 基金創設の理解と支援体制の構築・必要な資源の拡充
- ② 熊本地震支援活動団体のサポート体制・連携
- ③ 助成事業の充実

○2018年度重点取り組み【ネットワーク連携強化】

- ① 連携強化による新たな資源の確保
- ② 地域の課題解決に向けた仕組み作り・交流サロンの充実
- ③ ネットワーク連携による助成事業の充実

2019年度は、引き続き熊本地震支援活動を行うとともに、県内・全国に向けて活動の趣旨や内容についての普及啓発活動を行い、新たな基金の創設・そのために必要な資源の確保を行います。

また地域が抱える社会課題についての実態やニーズ調査し、必要なサポート体制づくりに努めます。特にこれまで助成サポートを行ってきた「**女性・子ども・若者**」の**支援体制構築を重点に進めていきます**。同時に関係機関と連携して、ファンレイジング勉強会等学びの場を提供し、団体の課題解決を全面的にバックアップする体制づくりに努めます。さらに、相談・コンサルティング機能を整え、サポート強化を図ります。

また新たに創設した「Appleseed 奨学金」熊本モンタナ高校生留学奨学金（返済義務のない給付型で支給）について、広く資源の確保を行いながら、事業を行ってまいります。

特に重点取り組みを以下の4点におきます。

- ① 基金創設の理解と支援体制の構築・必要な資源の確保（1592チャレンジ・Appleseed 奨学金）
- ② 社会課題のニーズ・課題調査、サポート体制づくり（女性・子ども・若者）
- ③ 団体サポートコンサルティング人材育成
- ④ 組織運営・事務局体制の強化・充実

3. 事業

（公益活動推進事業）

（1）公益活動を行う団体に仲介・提供するために、公益活動に必要な資金等の資源を募り、確保する事業

●事業名：チャレンジ1592（ひごくに）寄付募集

【事業概要】熊本地震から2年。熊本でたくさんの方が、被災者支援や復興支援活動を展開してきました。持続可能な活動にしていくために、引き続き、活動をサポートしていくために、活動に賛同いただける方を募り、熊本元気応援「チャレンジ1592寄付」として登録・ご寄付をお願いしていきます。

賛同者1592人

【内容】一口応援団メニュー（様々な寄付メニューを紹介し、寄付者の思いを大事にした寄付）

【賛同者】1,592人（メッセージを同時にお願いしてHP上で公開—賛同者）

【目標額】100万（2020年5月まで）



●事業名：財団アワード

【事業概要】熊本地震後、活発に活動始めた市民活動や災害支援活動から高まった寄付に関する県民の意識をさらに高め、今後迎える課題社会の課題解決に向けて、県民一人ひとりが自分たちで解決する仕組み作りやお金の使い方自分たちの未来を作っていくことに気づいてもらうこと、サポートをする団体として設立した「くまもと未来創造基金」について広く知ってもらうことで、応援する賛同者を募り、共に未来を作る仲間を増やすことを目的として開催します。

【内容】みんなでつくる未来—欲しい未来を熊本へ

1. 講演「みんなで作る未来—欲しい未来を熊本へ」（遺贈寄付について）
2. オルビスくまもと未来基金採択者活動最終報告
3. 「1592寄付チャレンジ」熊本暮らし人基金—募集について
4. 交流会

【実施日時】令和元年12月21日（土）14：00～17：00

【実施場所】熊本城彩苑

【対象者】NPO・行政関係者・企業・地域金融機関・関心ある方

【参加目標】60名

【参加費】無料

【賛同者目標】50名

(2) 公益活動を行う団体に対し、その経営に必要な資源を助成・提供する事業

●事業名：熊本暮らし人基金

【概要】熊本の課題解決に向けた活動を行っている団体を助成

【実施期間】2020年募集

【対象】熊本で活動している団体

【収入】50万（予定） 【支出】30万

(3) 公益活動を行う団体及び資源提供者に対するコンサルティング事業

●事業：コンサルティング人材育成事業

【事業概要】持続可能な活動を行うために必要な団体の課題把握や戦略計画立て自立した運営できるように団体運営サポートができる人材育成を行います。また日本ファンドレイジング協会や認定・准認定ファンドレイザーと連携して、ファンドレイジングに関する体系的学び・ファンドレイジング・資金調達力の向上を目的に勉強会を開催します。

【目標】

- ① コンサルティング人材育成セミナー開催
- ② 団体運営サポート支援体制を構築する

《開催計画》

基盤強化セミナー（予定）

時期	会場	時間等	内容	備考
6月		13:00～17:00	コンサルティングセミナー①	20人
9月		13:00～17:00	コンサルティングセミナー②	20人
10月		13:00～17:00	コンサルティングセミナー③	20人
11月		13:00～17:00	団体サポート実践	20人

【収入】1,200,000 【支出】1,020,000 【収支差引き】180,000

●事業：ファンドレイジング勉強会・交流サロン

【事業概要】日本ファンドレイジング協会や認定・准認定ファンドレイザーと連携して、ファンドレイジングに関する体系的学び・ファンドレイジング・資金調達力の向上を目的に勉強会を開催します。また同時に個別相談会や交流サロンを開催し、ネットワークづくりやマッチングの場、ニーズや課題の把握の場とします。

【目標】①学びの場の提供 ②「チャレンジ1592」賛同者を集める（③資金調達の専門知識を持った熊本のファンドレイザーを増やす。 ④地域の様々な主体との交流サロンを開催します。

2019年度：勉強会参加者人数延べ50人・交流会サロン参加人数60人

① ファンドレイジング勉強会

時期	会場	時間等	内容	備考
8月	長洲町・熊本市	14:00~16:00	地域の課題解決	20人
3月		14:00~16:00	ファンドレイジング研修	30人

【収入】70,000円 【支出】67,000円 【収支差し引き】3,000円

②交流サロン

時期	会場	時間等	内容	備考
8・11・2・5月	事務所・その他	2時間程度	1592寄付チャレンジプログラムについて・交流会	各15人

【収入】60,000円 【支出】40,000円 【収支差し引き】20,000円

(5) 公益活動に係る調査研究、情報収集及び情報発信に関する事業

【事業】情報発信及び広報・普及啓発

【内容】市民活動の一番にニーズである助成金情報や企業・行政からの情報等様々な情報を活動市民団体に提供するとともに、支援したい市民・県民・企業等に活動団体の情報や社会的課題について発信していきます。

【対象者】市民活動団体・個人・企業・行政等

【配信】HP

メルマガ

FB等SNS

(次世代育成事業)

●「Appleaseed 奨学金」熊本モンタナ高校生留学奨学金

本事業を実施するに当たり、本財団内に特別基金として、「Appleaseed 奨学金」を創設いたしました。高校生留学プログラム参加費用相当額の奨学金を、返済義務のない給付型で支給することで、県内の高校生が広く海外に視野を向け、将来グローバルに活躍をする人材を育成することで、社会の発展に寄与することを目的としています。

(2019年特に本件と35年の良好な姉妹交流を続ける米国モンタナ州政府駐日本代表事務所のご協力のもと、公益社団法人日本国際生活体験協会の事業運営により、本年は県立第一高校 3 年生 堤あみさん、専修大学玉名高校 2 年生 永瀬友さんの二名が最終選考を経て選抜されました。)



《2019 年度募集スケジュール》

2019 年

10 月初旬 県内の高校 50 校に対し募集ポスター送付。

10 月下旬 第一回説明会

12 月中旬 筆記試験

面接

2010 年

6 月 留学奨学金振込

7~8 月 出発

【収入】 4, 000, 000 円 【支出】 3, 200, 000 円 【収支差し引き】 800, 000 円

4. 理事会の開催

年 5 回開催 (6 月、8 月、11 月、2 月、5 月)

6 月—今年度事業計画・予算状況

8 月—進捗状況

11 月—進捗状況・次年度事業計画

2 月—一次年度計画 (最終)

5 月—今年度事業報告・決算状況 次年度計画・予算

5. 評議員会開催

・2020 年 6 月